

全国家庭クラブ長崎大会PR誌 第2号

2016年3月4日発行
発行者：第5専門部広報担当
島原高校・島原翔南高校



大会テーマ 『平和を祈る長崎で 鳴らそう未来へ 希望の鐘を』

今年度から生徒実行委員会や各専門部の活動が始動し、早いもので1年が経とうとしています。各専門部とも着々と長崎大会に向けて準備が進んでいると思います。まずは次年度、プレ大会を兼ねた県の研究発表大会が半年後に控えているので、ラストスパートをかけていきましょう。

今回のPR誌から各専門部の紹介や進捗状況などを紹介していきます。どうぞご覧ください。

全国家庭クラブ研究発表大会（北海道大会）報告

私が3日間の視察でわかったことは、どれだけたくさんの方が協力し合って大会が成り立っているかということです。私の視察した第4専門部だけでも何十人の生徒や先生が関わって自分に与えられた仕事以上の働きをしていました。事務局となる高校だけじゃ、自分たちだけじゃ素晴らしいものを作り上げることは難しいとわかりました。

そして、第4専門部で必要とされる身だしなみや言葉遣い、時間を守ることなどはどれも、当たり前にするべきこと、普段から心がけるべきことだと気づきました。私は大会の要領はもちろん、家庭クラブのことも全然知らなかったけど、実際に参加して、視察して少しわかったような気がします。まだまだわからないことだらけですが、これから少しずつ知っていきたいと思います。

私は北海道大会で北海道らしさをたくさん感じ取ることができました。しおりやコースターに使われていたアイヌ模様・名刺交換の景品である名物のお菓子、弁当に含まれる特産物など、さりげなく盛り込まれたポイントがとても良かったです。

長崎は田舎だしまだ皆さんの知らないことばかりだと思うけど、歴史も深く美味しいものもたくさんある素敵な街です。長崎大会はそんなあまり知られていない長崎の良さを自分たちもまた再発見していきながら、他県の方に知ってもらいたい機会にしたいと思っています。

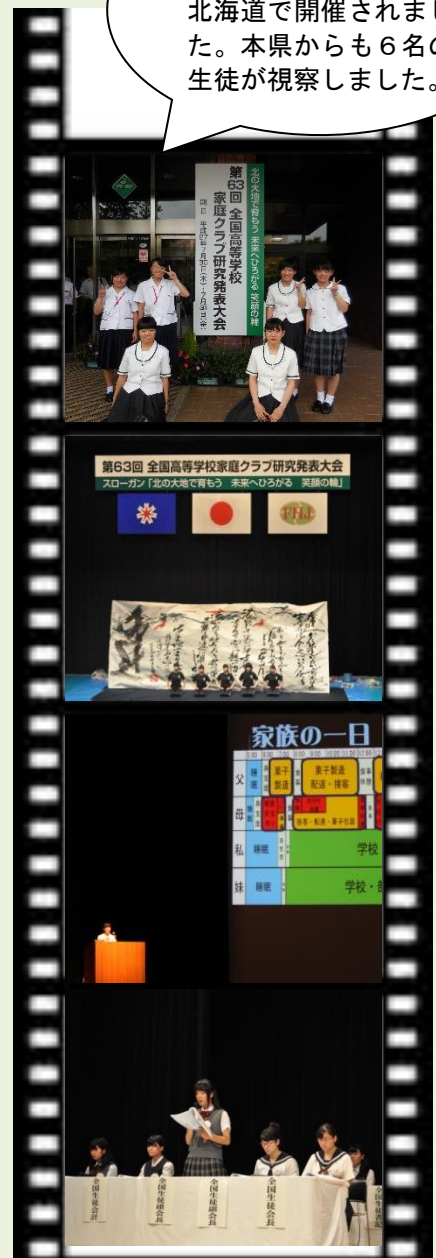
今回の視察、次回の視察をしっかりと生かして活用し、発展させて素晴らしい長崎大会を計画して行きたいです。そして自分が長崎大会事務局校の生徒として大会に携われるという奇跡に感謝して、自分の成長に繋がる良い経験にできたらいいなと思います。



大会事務局
諫早農業高校 小淵由和



今年度の全国大会は、7月30、31日に、北海道で開催されました。本県からも6名の生徒が視察しました。



オープニング（書道）

研究発表

総会

生徒専門部の紹介 ～第1専門部・第2専門部

各専門部の紹介を行います。今回は長崎地区の第1専門部と佐世保地区の第2専門部です。

第1専門部

担当：長崎地区

業務内容：「司会進行」「開閉会式」「研究発表」「発表者誘導」「スカラシップ」

第1専門部は、主に全国大会での研究発表をしっかりと進め、全体の進行と時間の管理を行う仕事をします。大会の中心である研究発表には、全国から選ばれたホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動などの発表があります。これらの発表がスムーズに進むように発表者の誘導を行ったり、研究発表の審査に大きく関わる発表時間の計測をしたりと、とても重要な部分を担当します。他にも、開閉会式・司会進行・タイムキーパー・スカラシップなど、様々な仕事があります。本番でのミスがないようにしっかりと計画を立てて、今年のプレ大会、来年の全国大会に向けて頑張りたいと思います。

仕事において、まだまだ不安な部分がありますが、第1専門部の所属校である長崎東高校、長崎南高校、長崎北高校、長崎鶴洋高校の方達と一緒に横の連携を取りながら精一杯頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくをお願いします。

第1専門部では、ステージの設営計画が立てられています。研究発表者が発表に集中できるよう、動線をイメージしながら入念に検討を重ねられています。



生徒専門委員長

長崎西高等学校1年

水島 遥香



第2専門部

担当：佐世保地区

業務内容：「審査」「集計」「表彰」「商品」「記念品」

昨年、県の家庭クラブ総会・研究発表大会に参加し、生徒実行委員会に出席しました。生徒実行委員会では、第五専門部からの生徒交流会の内容について各校の代表者により活発な意見が交わされました。私は、緊張してあまり積極的に意見を言うことができませんでしたが、この総会で決まったことが長崎大会に反映されていくと思うので様々な意見を近くで聞くことができよかったですと思います。また、研究発表や表彰を実際に見て、大会そのものを理解することができました。

第2専門部は、審査・賞品の係りになっていますが、昨年県下の皆さんに長崎大会に参加する全国の高校生のみなさんや先生方にお渡しする賞品についてアンケートをお願いしました。ご協力有難うございました。現在、候補を絞り、来年度には決定の予定です。また、これから大会が近づくと、係り生徒の役割も決まり、準備も本格化すると思うので、しっかりと後輩に引き継いでいきたいと思っています。

第2専門部では、長崎大会をアピールできるような、長崎らしい記念品・参加賞を検討されています。決定次第お知らせしますので、楽しみに！



生徒専門委員長

佐世保東翔高等学校2年

浦 彩乃



生徒交流会の交流内容決定！！

生徒交流会のアンケートを実施したところ、たくさんのアイデアを提案いただき、どうもありがとうございました。第5専門部生徒実行委員会で各校から出された案を精選し、11月に開催された県総会・研究発表大会の生徒実行委員会で議題にあげました。検討の結果、生徒交流会の交流内容が決定しました。



第5専門部生徒実行委員会の様子

<p>集会型 生徒交流会</p>	<p>体験Ⅰ 長崎さるくイズ(仮題)</p> <p>例：異なる都道府県の2～3人でチームを作る。長崎に関するクイズを三択(○×)問題で実施。チーム内で交流を深めてもらうとともに、長崎について知ってもらう機会とする。</p>
<p>参加型 生徒交流会</p>	<p>体験Ⅰ メッセージボード「願い龍 ～夢をのせて～(仮題)」</p> <p>龍のうろこ型メッセージカードに願いや夢を記す。龍の図案に尻尾部分からカードを貼り、願い龍を完成させていく。</p> <div data-bbox="379 891 1078 1146"> </div> <div data-bbox="1166 875 1484 1115"> </div> <p>体験Ⅱ 折り鶴「平和への祈りを込めて(仮題)」</p> <p>折り紙を参加者全員に配布する。折り紙に平和へのメッセージを記入してもらい、折り鶴を折る。折り鶴を回収し、千羽鶴へと仕上げる。最後は平和公園へ奉納する。</p> <div data-bbox="1090 1335 1295 1500"> </div> <div data-bbox="1358 1200 1442 1516"> </div> <p>体験Ⅲ しおり作り</p> <p>長崎の方言や景色や行事等を彫った消しゴムスタンプを組み合わせるとしおりを作る。</p> <div data-bbox="617 1675 764 1818"> </div> <div data-bbox="831 1653 1015 1834"> </div> <div data-bbox="1086 1637 1230 1818"> </div>

第5専門部では、全国から参加される家庭クラブ員の皆さんが交流会を通して長崎の楽しい思い出を作ることができるよう、さらに検討していきます！！

クイズの問題などで県内各地域の話題などありましたら、顧問の先生を通して第5専門部まで紹介していただければと思います。

次回の第3号(7月発行)は
 ○「ブレ大会開催されます！」
 ○「生徒実行委員会③報告」
 ○「第3、4専門部活動内容報告」
 を特集します。